

幼馴染は親父の彼女・姉



優しく慰めてくれた
幼馴染も...

親父とSEXしていた...

R-18
成人向け

カラーコミック32P

幼馴染は親父の彼女 のでできごと

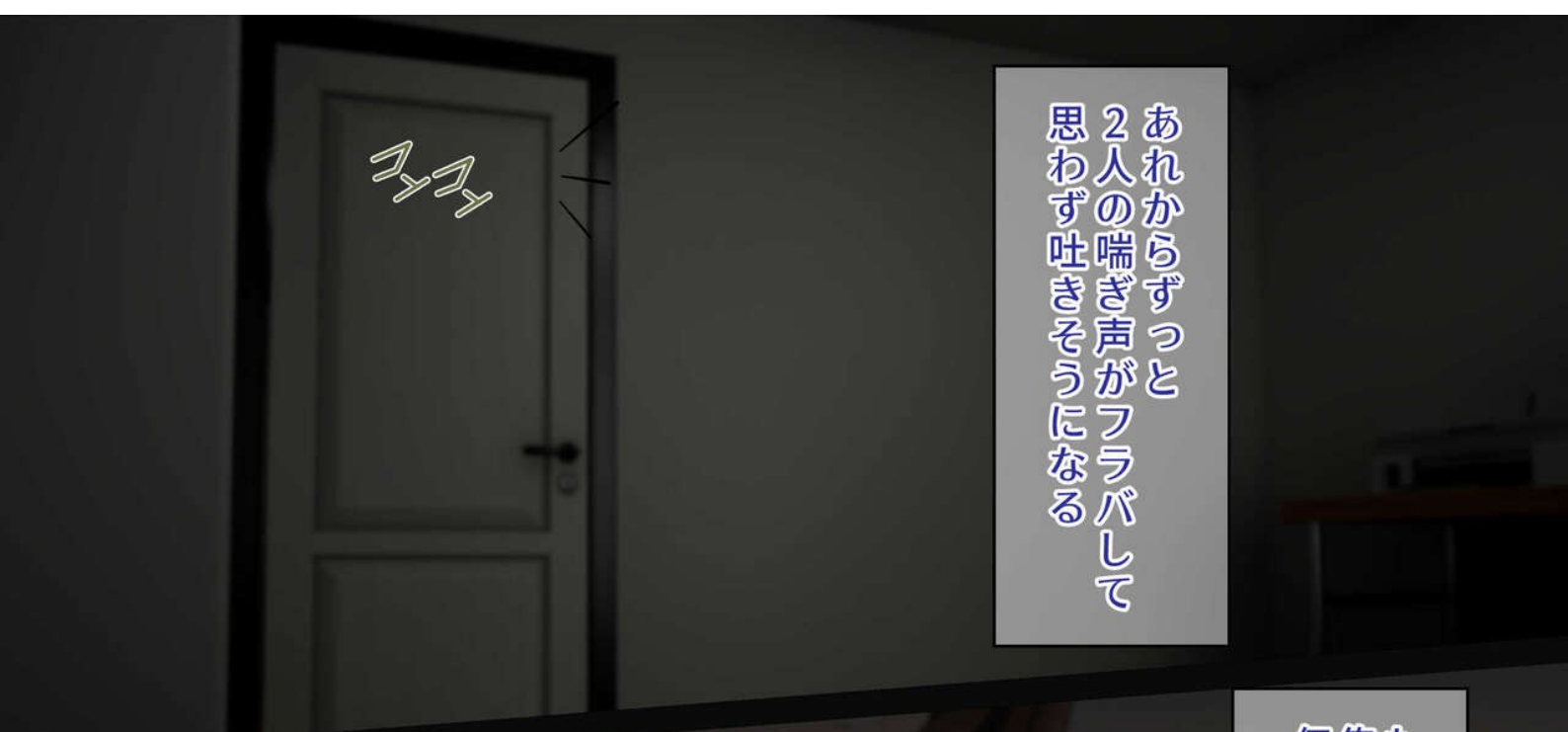
隣の家の幼馴染の美人姉妹、陽葵、紬、凛
そんな彼女達と友達以上恋人未満の仲の主人公
三人の中の誰かとそのうち恋仲になるのだろうと
モラトリアムを楽しんでいた

そんなある日、同級生の幼馴染、陽葵を
ちょっとした行き違いから泣かせてしまう

すぐに仲直りをしたことで安心して
数日後...

父親の部屋から聞き覚えの
ある声が喘ぎ声が漏れてくる

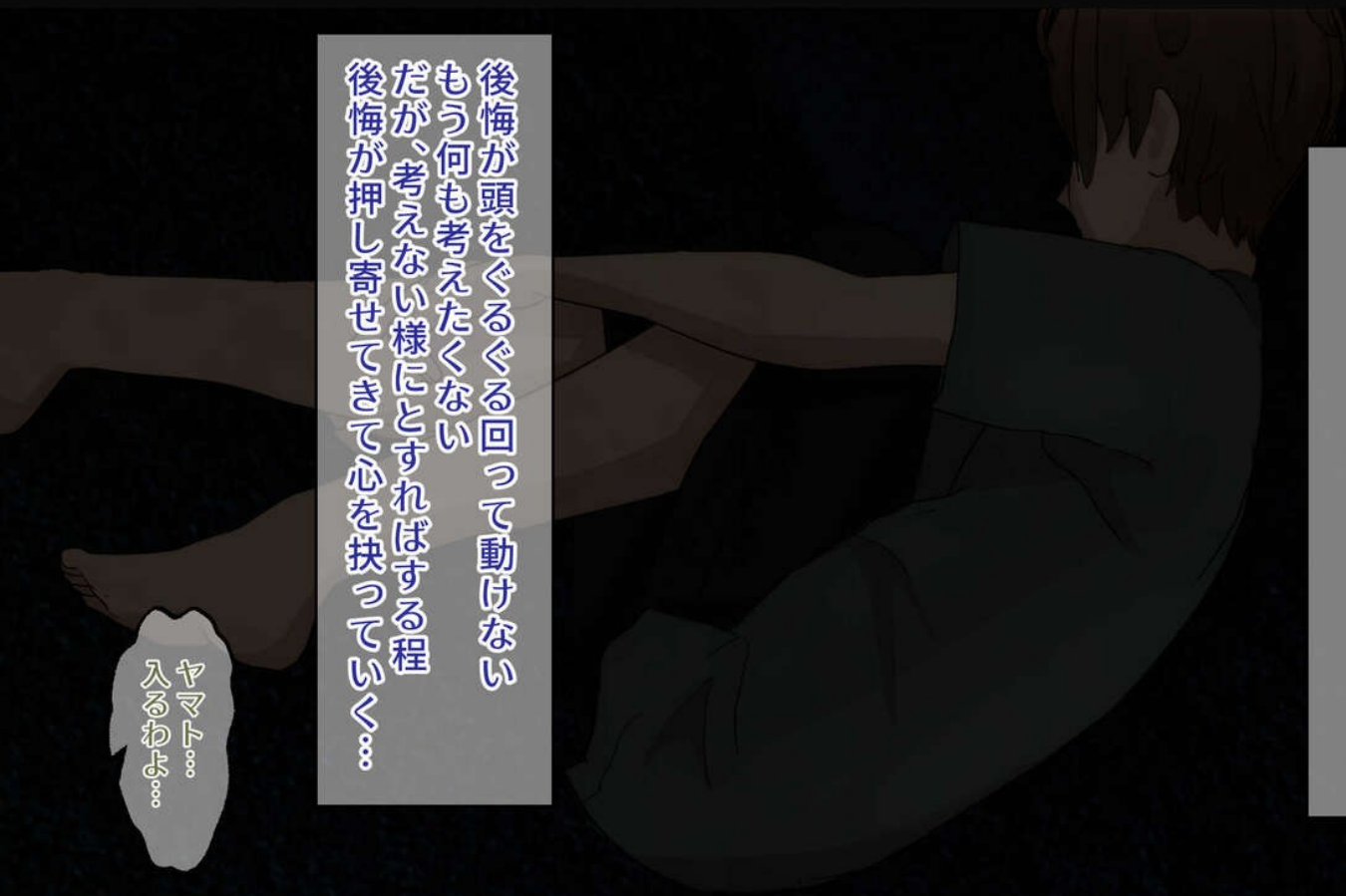
盗撮までして父親の部屋を確認した結果
幼馴染が父親と絡み合い繋がっていた



あれからずっと
2人の喘ぎ声がフラフラして
思わず吐きそうになる



もしあの時
俺が直ぐに追いかけていたら
何か変わったのだろうか？



陽葵と仲直りして付き合って
セックスして…
そんな未来があったのだろうか？

後悔が頭をぐるぐる回って動けない
もう何も考えたくない
だが、考えない様にとすればする程
後悔が押し寄せてきて心を抉っていく…

ヤマト…
入るわよ…

ちよ…ねえヤマト…
大丈夫？

声の主の方へ顔をあげると
姉さんが心配そうにこちらを覗き込んでいた

だって、凄い顔色が良くないわよ？
何処か具合が悪いんじゃない？
病院に行く？

ああ姉さん…大丈夫…ありがとう…

ス…

こんな俺の事を本気で心配してくれている
その事実が嬉しくて思わず泣きそうになる

ぎゅっ

大丈夫……
多分疲れてるだけだから……ありがとう

病気じゃないなら……
何か……悩みでもあるの？

えっ？なんでっ？

ギョッ

なんでっ……
凄い辛そうな顔してるよ……

……

どうしよう？
全て話してしまおうか？
でも言っただうなる？

ドクン

ドクン

ただ姉さんを苦しめ
るだけじゃないか？
こんな思いをするのは
俺だけでいいだろ……

ニッ

ホント大丈夫…
もう大丈夫だから…

…そう

…でも何かあったら直ぐに言ってね
…できる限り力になるから…

それじゃあ…今はしっかり休んでね…
おやすみなさい

よし
よし

ありがとう…姉さん
おやすみ…

俺にはまだ姉さんがいる
暖かい手のぬくもりに身を任せて眠りについた

数日後

わかってから見ると
陽葵と親父の2人は明らかに
意味深な目配せをしている

ずい

ずい...

ニヤニヤ

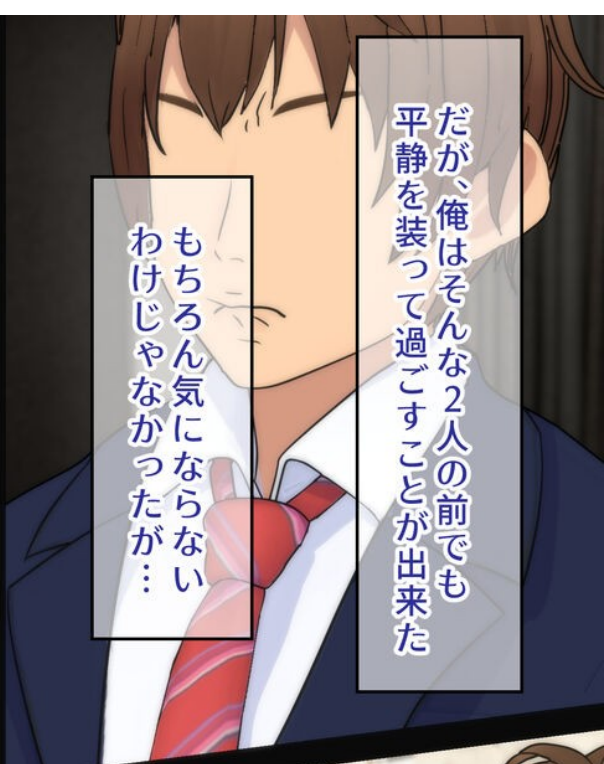
ドキ
ドキ
ドキ

ドキ

すり

すり

バレてないと思っ
ているのか
日常の中でボ
ディタッチが
増えていた



だが、俺はそんな2人の前でも
平静を装って過ごすことが出来た

もちろん気にならない
わけじゃなかったが…



俺には紬姉さんがついてる
力になってくれると言ってくれた

その言葉だけでどんな事
にも耐えられる気がした



今までは陽葵と過ごしていた時間を
全て紬姉さんと過ごすことに使おう

一緒に下校したり買い物に行ったり
2人の時間を共有していくんだ





明日休みだしさ…
良かったらこの後
2人で何処かいかない？

ごめんねヤマト…
この後は…
ちよつと用事があつて…

どこかいくの？
良かったら付き合うけど？

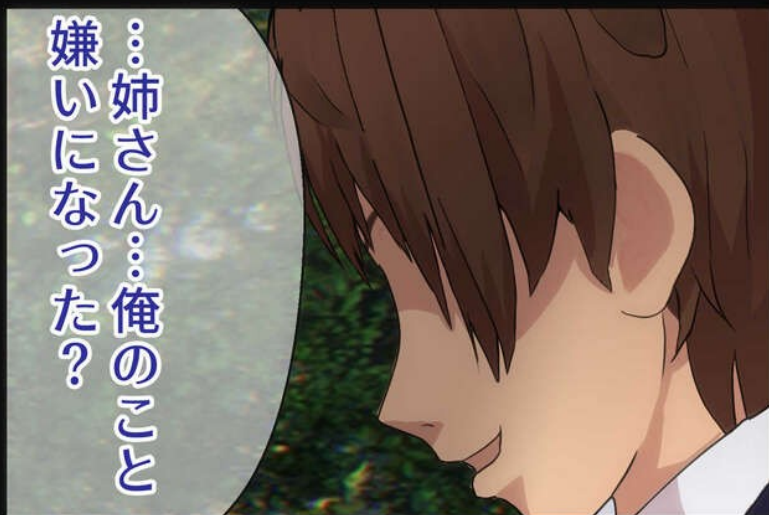


…そっか



ああ…大丈夫よ…

…ホント…個人的な用だから…



…姉さん…俺のこと
嫌いになった？

姉姉さんとは学年も違
うし、普段からそこまで
ずっと一緒にいたわけ
でもなかったし、仕方
ないかと思っていただけ

最近はず定が合わない
目が多すぎる

それにこの対応…
間違いなく避けられている

急にどうしたの？
そんなわけないじゃない

まよとん

お姉ちゃんはいつだって
ヤマトのことが大好きよ

じゃあなんで
避けるんだよう！

別にいいんだ…
嫌いなら嫌いでも…
ただちゃんと姉さんの
口から聞きたいんだ…

なぞ
なぞ

…ごめんねヤマト…
避けてたわけじゃないの…

ただ本当に今はやる
ことがあるだけなの…
さっきも言ったけど…
お姉ちゃんはヤマトが大好きだよ

そう言われたら、俺にはもう
答えを迫ることはできなかった
姉さんも陽葵の事を俺に追求
しなかったんだから、俺も無闇
に聞き出すべきじゃない…

姉さんが話したくなった時に
頼れるようにすればそれでいい

…怒鳴ってごめん…
でも何かあったら直ぐに言っ
てね…
できる限り力になるから…

ありがとうヤマト…
今度時間が出来たら2人で出
かけましょう？

ねっ？



…お姉ちゃん頑張るから…

俺は次の約束を取り付けた
ことで、浮かれに浮かれていた

うん…またね…

うっうん、わかった…また今度…

そのことを後悔
するのは
すぐ後のことだった

帰ってから部屋で1人、次の
デートプランをああでもない
こうでもない妄想している
と、親父が声をかけてきた

ヤマト…お父さん
ちよつと用があるから
でてるよ



えっ? ああ...
ちよつと知り合いと会ってくる
飯はいらないから...

どうせ陽葵とデート
でもしに行くんだろ?



おう... 何処行くの?

スッ...



妙に歯切れが悪いし
やっぱりそうなんだ
ろうな

おう... いってら...

俺は勤めて平静を
装って返答した



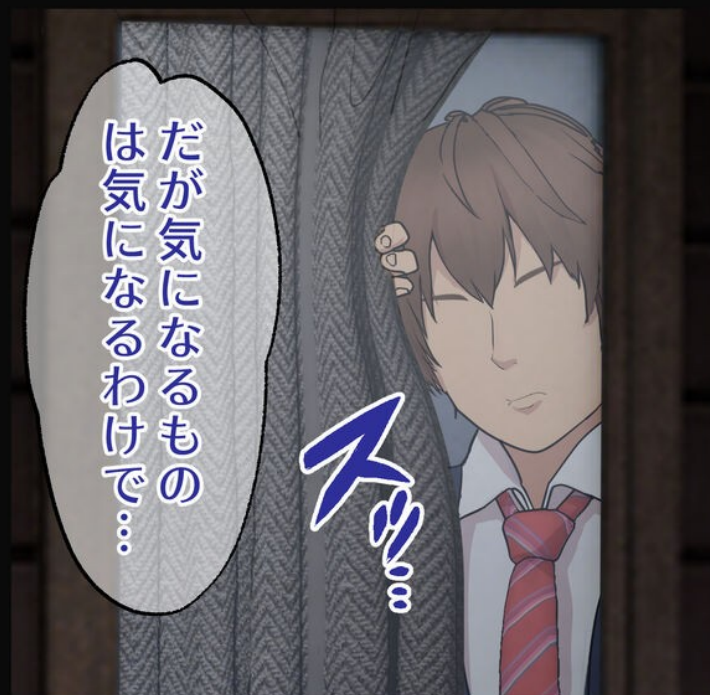
自分の中で割り切つ
たつもりだったが
やはりモヤモヤと
した気持ちは湧いてくる

クッ...

大丈夫...
俺には姉さんがいる



そこにいるはずの
無い人間がいる…



姉さんだった…

フオー



は?

は?

は?

フオオ〜

意味が
わからない

ドグンッ...

ドグンッ...

だって親父は
陽葵と付き合
っているんだろ?

：いやいやいや：親父と姉さん
が出来てるとか有り得ないだろ

ドグンッ...

ドグンッ...
グンッ...

きっと車で送って欲しかったとか
そんなところだろ：
そうだ、そうにきまつてる

自分にそう言い聞かせる：
そう言い聞かせることしか出来なかった

深夜

カチャ
カチャ

キィ...

バン

帰ってきた親父は早々に自分の部屋に戻った
誰かを連れ込んだ
様子もない

日は又がなかったんだから
きつとホテルには行つて
ないはずだ

ガサガサ

姉さんと親父で間違い
なんて起こるわけがない

いや...
そんな確証はどこにもない
俺の希望的願望でしかない

ぐるぐると回る思考のなかで
ふと気づいた...

ドライブレコーダーを見れば
どこで何をしていたかわかる
んじゃないか?
アレには車内の録画機能もあ
ったはずだ...
確認すればこの憂いを断つ
事が出来る

何も無かったという
確証が欲しかった

車からドラレコのSDカードを
引っこ抜いてPCで再生する

大丈夫大丈夫大丈夫…

車に乗り込んだ
2人は発車して暫くは
たわいない近況を
話し合っている

×
そう言えば、さっきヤマトと
出かける約束をしてきたんです
ヤマトったら嬉しそうにして…

ほら見ろ、2人はそんな
やましい関係なんかじゃ
ないんだ

お姉ちゃんっ子に育ってくれて
こっちも嬉しくなっちゃいました

こんなに綺麗な姉だったら
俺も欲しかったなよ

2人で出かけるのかい？
ちよつと妬けちゃうな…

どうだ親父
俺と姉さんは両思いなんだ
俺が姉さんを…

ふふふっ♡
ヤマトは弟みたいなものですよ？

…嘘だろ？だって…
姉さん…俺が大好き
だって…

でも義雄さんが嫌なら…
断っちゃういますね♡

それは…流石にヤマト
に悪いよ
ただちよつと俺以外の
男といったら嫌だなあって…

ニヤ ニヤ



あらあら♡

ニヤ♡

ニヤ♡

そんな寂しがり屋
さんはいっぱい
いい子いい子して
あげなきやですね？



すり

すり

清廉だと信じて
疑っていなかった
姉さんの行動に思
わず目を疑った



キキッ...

ヒョッ



オロ
オロ...

ええ？だって私は貴方のモノだよって
ココに教えてあげないと...

いや信号変わっちゃうから...

ドキ
ドキ

ドキ

よし
よし

でもこの子はナデナデされて
嬉しそうですよ？♡

そりゃ嬉しいけど...

ちよちよちよつ
...紬ちゃん...ダメだよ
こんなところで...



キギッ

辺りが暗くなり始めたころ、人通りのないだろう
田舎道まで来ると、親父が何処かの路肩に車を
停めた
幸か不幸かレコーダーが止まる事は無かった





さつきは焦ったよ

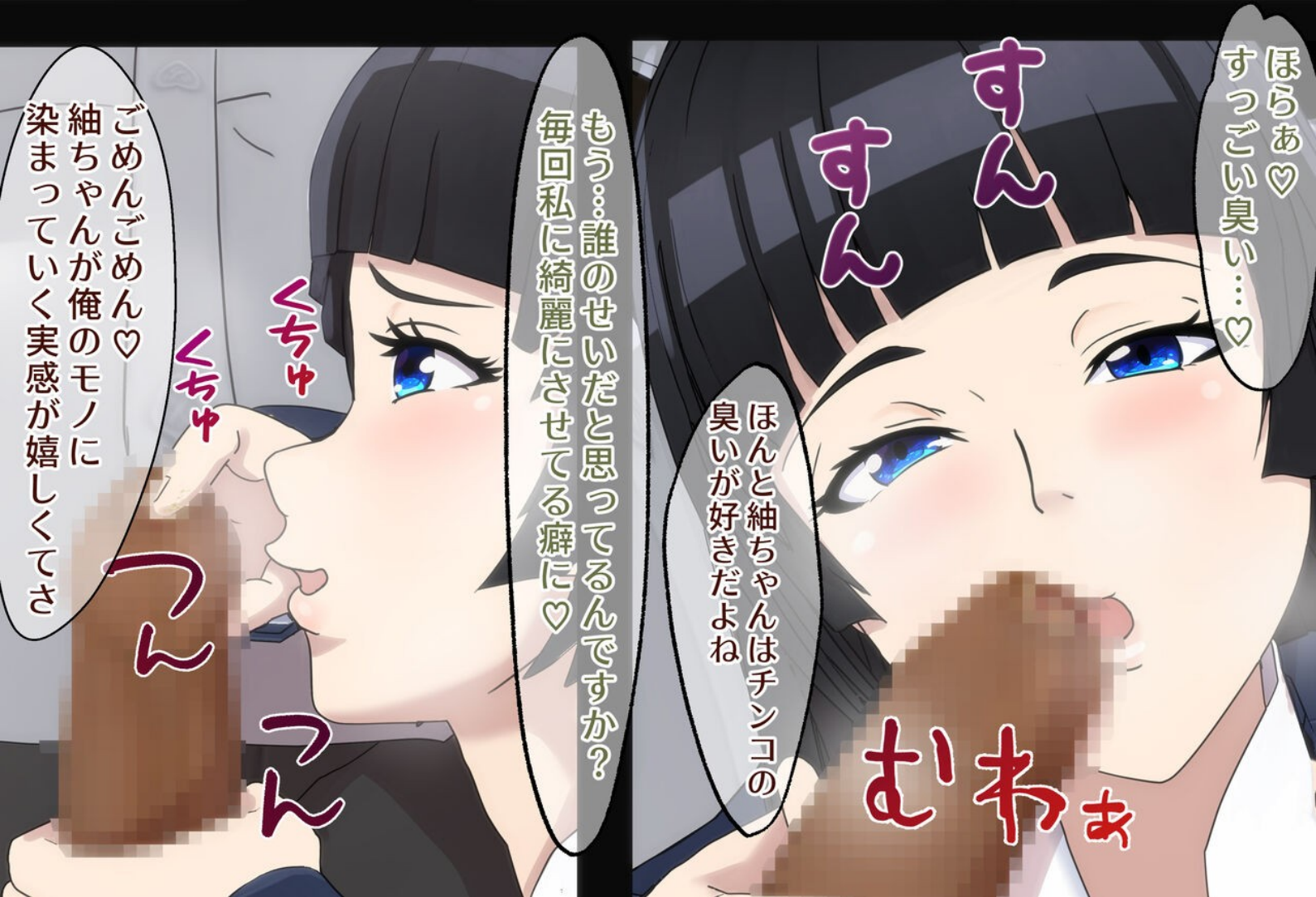
ごめんなさい♡

でもこの子がずうつとお外に出たがってたから…

すり

すり

なぜ
なぜ



ほらあ♡
すっごい臭い…♡

すん
すん

ほんと細ちゃんはチンコの臭いが好きだよね

むわぁ

もう…誰のせいだと思ってるんですか？
毎回私に綺麗にさせてる癖に♡

くちゅ
くちゅ

ごめんごめん♡
細ちゃんが俺のモノに染まっっていく実感が嬉しくてさ

っん

っん



ハア 舌が纏わりついて…
気持ちいい♡



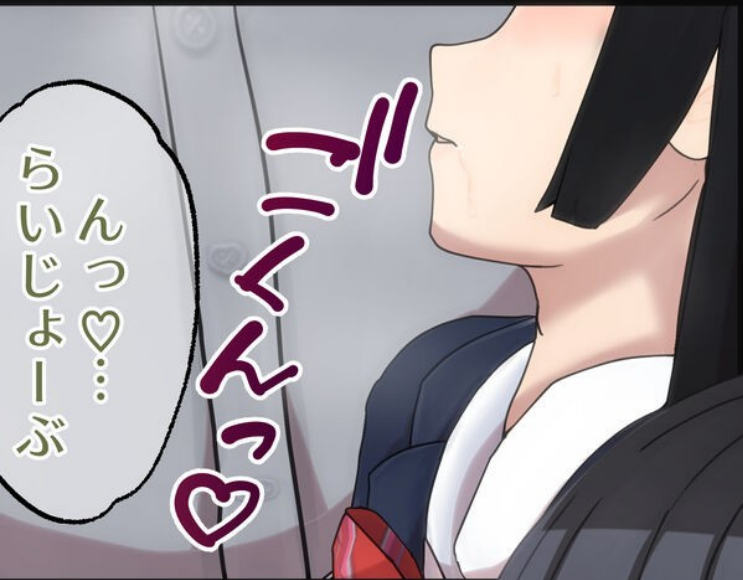
ああくっさ♡
皮の間にいっぱい溜まってる♡

もう…独占欲が強いんだから♡
じやあ今日も義雄さんの
チンカス証明書塗り込んでくださいね♡



おおそんなに吸い付いたらっ

がまんしないね…
びゅっびゅっしてくらはいね♡…



ありがとうすごく良かったよ

はあっ

ふうっ

ふうっ

ふうっ

でもまだまだ元気ですね♡
次はおまんこで搾り取って
あげますから♡

くちゅっ♡

くちゅっ♡

でも…こんなところで
良かったの？
今からでもちゃんと
ホテルに行っても
いいんだよ？

それに…普段と違う場所ですものって
ちよつと興奮しませんか？

とろろ…♡

はははっ
さてはそれが狙いだな
紬ちゃんはえっちだなあ

いいんです
ヤマトの学費とかでまだまだ
お金かかるでしょう？
節約出来る時はしておかないと

ぬぎ

まあ…そうだけど…

ぬぎ

違いますよお♡
ただ、ヤルなら目一杯楽しみたいわ♡

ドキ♡

ドキ♡

きゃん♡

きゃん♡

そうだね♡それじゃあ挿入するよ♡

雄々しく剃り立った
親父のチンコを
姉さんの愛液まみれの
マンコご飲み込んでいく

ちゅぽん♡
ちゅぽん♡

おほっ♡おっ♡ほっ♡

きたあ♡
義雄さんのおちんぽで
奥つまでいっぱい♡

ハッハッハッ♡
ハッハッハッ♡

俺がそこに入れる筈だったのに
なんで…なんでなんだよ…

♡きゅう♡

凄い気持ちいいよ♡
挿入ただけで射精ちやいそう

キゅん♡

キゅん♡

くちん



は

はっ

は、

はあ



しちゃっ♡

は
た
わ
ん



1#
W
1
♡

あつ♡あつん♡

いきなりっ♡激しいっ♡

溜まったのぜーんぶ
私の中に吐き出してください♡

子宮口突き上げるのっは♡駄目っ♡

くそっ！くそっ！

ハッ
ハッ
ハッ

イ
ラ
...

画面の中の出来事は
既に起こってしまっ
た事実だ

どんなに望んでも
止めることはできない

ハッ
ハッ

はっ♡

好き♡♡

好き♡♡

ちゅっ

ちゅっ

はっ♡

義雄さん...♡

義雄さん...♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

レロ♡♡
レロ♡♡

レロ♡♡
レロ♡♡

絡み合う2人は
貪るように互いの
身体を求め合っていた

グロ♡♡
グロ♡♡

グロ♡♡
グロ♡♡

グロ♡♡
グロ♡♡



普段の温厚な姉さんからは考えられないような
激しい動きで腰を振っている

射精してっ♡

はっ♡

あ♡♡

はっ♡

はっ♡
はっ♡

射精してっ♡

その度に打ち付けられた尻から
パンパンツと肉のぶつかる音が響いた

せめて姉さんが親父の
性処理に使われているだけ
なんだと思いたかったが
気持ち良さそうに喘ぐ姿
がそんな事はない事を証明
していた

ああ♡♡

グック♡

ぞくぞく

イク♡♡

イク♡♡

ぞくぞく

びーっ

ああ♡♡

やっぱいい♡♡
上がってくるッ

びーっ

悔しくて悲しくて
どうしようもないのに

それでも俺のチンコは
勃起していた

情けなくも2人の情事が
激しさを増すのに合わせ
て、俺もチンコを激しく
擦り上げる

もう…射精そうだ

射精すぞっ♡
射精るっ♡
射精るっ♡

ああ♡

ンッ♡

ドチョッ♡

ドチョッ♡

ドチョッ♡

ドチョッ♡

キテっ♡

キテえっ♡



イクイクイク
イクイクイクっ♡

ムンムンムン
ムンムンムン

ムンムンムン
ムンムンムン

ムンムンムン
ムンムンムン

ムンムンムン♡
ムンムンムン♡
ムンムンムン♡
びゅるる♡

「ああ…
「ああっ♡



An illustration of three crumpled pieces of paper, likely representing discarded ideas or failed attempts, resting on a dark brown wooden floor. The papers are rendered in shades of light pink and white, with visible creases and folds. A vertical black line runs down the right side of the image, separating it from the adjacent text column.

A person wearing a green t-shirt is shown from the chest down. They are holding a small, dark, rectangular object in their hands. The image is surrounded by several sound effect text elements in a stylized, bubbly font: 'ハッ' (Ha) and 'ハッ' (Ha) are at the top left and right; 'ハッ' (Ha) and 'ハッ' (Ha) are on the left side; 'ハッ' (Ha) and 'ハッ' (Ha) are on the right side; and 'ハッ' (Ha) and 'ハッ' (Ha) are at the bottom left and right. The background is dark and indistinct.

A close-up, back view of a person with short, dark brown hair, looking out a window. The person is wearing a dark green shirt. The window shows a bright, overexposed outdoor scene.